

令和6年度 旭川市中小企業審議会 第2回会議 会議録（要旨）

○日時 令和6年8月21日（水） 15:00～16:10

○場所 総合庁舎 7階 大会議室B

○出席者 委員）川口会長，米沢副会長，井上委員，土井委員，鎌田委員，近藤委員，新山委員

事務局）三宮経済部長，高橋経済部次長（経済総務課長），石崎経済部主幹，上田経済交流課長，小松経済交流課主幹，住吉産業振興課長，青葉企業立地課長，内田工芸センター所長，田村旭山動物園長，沼田旭山動物園主幹，白木観光スポーツ部次長（観光課長），大川観光課課長補佐，木村観光課主査，上平経済総務課課長補佐，篠原経済総務課経済企画係主査

○会議資料 次第

資料1 令和5年度主要施策の成果報告

資料2 「北の恵み食べマルシェ2024」フライヤー

資料3 BCP連携について

1 開会

2 経済部長挨拶

3 議題

（1）令和5年度主要施策の成果報告について

資料1に基づき説明。次のとおり質疑があった。

（委員）

資料1の8ページ「IT企業進出支援費」について，令和5年度はIT企業も含め全部で計6社の進出と説明があったが，どのような企業で，どの程度雇用が創出されているのか。

また，資料1の7ページ「スタートアップ伴走支援費」について，具体的にどのような会社が立ち上がったのか。

（企業立地課長）

業種は，印刷業，食品加工業，農業生産法人，IT企業，コンサル業である。

雇用については，計画では合計45名程度の新規雇用が見込まれる。

（産業振興課長）

スタートアップ支援関連について，スタートアップ支援補助金に関しては，サービス事業者からの応募が多かったため，製造業の商品開発やIT関連，新技術を活用した事業等の分野へも裾野を広げていかなければならないと考えている。

(委員)

6 ページ「あさひかわデザインハブ検討費」について、予算額に対して決算額が少ない理由は何か。

(産業振興課長)

一つは、デザインギャラリーの環境整備の財源として外部助成金の活用を計画していたが、その助成金が採択されなかったため執行できなかったこと。もう一つは、地域活性化起業人制度の活用を計画しているが、活用予定の企業と最終的な条件が合わず活用に至らなかったため、不用額が生じたものである。

(委員)

コロナ禍以降、市内のあらゆる業種において人手不足という声を聞く。企業誘致の関係で、新規雇用の45名程見込まれているという説明があったが、誘致企業は採用に苦勞していないのか。

(企業立地課長)

誘致企業も苦勞しているが、合同企業説明会を開催したところ、誘致企業のブースが盛況となったことがあり、求職者からはしがらみのない進出企業で1から仕事を始めたいという声を聞いた。また、雇用条件については、給与面よりも土日祝日を休日とする勤務体系とすることで人が集まったという話も聞いており、各企業それぞれ工夫している。人材確保に苦勞はするが、話を伺った企業は今のところ必要な人員は確保できている。

(委員)

賃金が極端に良いということはあるのか。

(企業立地課長)

必ずしもそうではないと思う。業種によっては賃金を高く設定している場合もあるが、同業種の企業が市内に少なく就職の受け皿となったケースや、求職者のニーズに合わせたシフト編成とすることで応募者を集めている。

(委員)

企業誘致の場合、会社進出の際に社員も一緒に移住していただけると人口も増え良いことだと思うが、進出企業の中で社員が移住する割合はどの程度か。

(企業立地課長)

社員の移住を伴う場合が多い。昨年度で言えば、製造業の企業は4人ほど移住し、今後30人程度を地元で求人募集する。印刷業の企業は5人のうち4人が移住し、IT企業の2社は、1社が3人のうち2人が移住、もう1社は1人が移住し、代表者が市内に賃貸アパートを借りた。社員の家族を含めると、もっと多いと思う。

(委員)

動物園通り産業団地について、社屋が建っている様子が伺えるが、売却の進捗状況はど

の程度か。

(企業立地課長)

造成から10年後の令和10年3月31日までに全区画を売却する目標であり、現在7年目である。現時点で73%まで売却済みであり、残る区画の一部は折衝中である。

(委員)

土地は取得済で社屋はこれから建てる企業もあるのか。

(企業立地課長)

ある。

(川口会長)

ほかに質疑、意見はないため、報告のとおり承認でよろしいか。

(全委員承認)

(2)「北の恵み食べマルシェ2024」の開催概要について

資料2に基づき説明。次のとおり意見があった。

(委員)

食べマルシェと同時開催される駅マルシェは、旭川信用金庫とJR北海道旭川支社さんが主催である。道北の信用金庫の皆様や数多くの団体の協力を得ながら、お取引先の皆様が出店し美味しいスイーツや海産物などを販売するため、是非皆様もご来場いただきたい。

(川口会長)

ほかに質疑、意見はないため、説明のとおり承認でよろしいか。

(全委員承認)

(3)BCP連携について

資料3に基づき説明され、次のとおり意見があった。

(委員)

旭川市は災害が非常に少ないというのはよく伺うが、全国で一番少ないのか。

(経済総務課長)

県庁所在地と振興局単位の中で比べると、旭川市が一番低いというデータがある。

(川口会長)

ほかに質疑、意見はないため、説明のとおり承認でよろしいか。

(全委員承認)

4 報告

(1) 旭川市観光振興のための新たな観光財源に関する答申について

観光課長から次のとおり報告し、承認された。

- ・ 第1回旭川中小企業審議会において答申案について承認をいただいたところ。
- ・ 4月30日に、旭川市観光振興のための新たな観光財源に関する検討部会の旭川市立大学杉村部会長、本審議会の柏葉委員同席のもと、川口会長から今津市長に答申した。
- ・ 答申の内容に基づき、新たな観光財源の確保策として宿泊税導入の検討を始めており、制度の素案を取りまとめたところである。
- ・ 素案の内容は、基本的に答申内容とほぼ変わらない内容で検討を進めている。
- ・ 宿泊税の導入については北海道及び道内の多くの自治体でも検討中であり、修学旅行などの学校行事について課税免除する方向で検討されている。
- ・ 市の制度が北海道や他自治体の制度と異なると学校に混乱を生じさせてしまう懸念があるため、課税免除の扱いについて検討中である。このことが答申案と異なる内容である。
- ・ 制度の素案については、7月29日に市内宿泊事業者を対象とした説明会を開催したほか、宿泊事業者と本市を訪れた観光客や宿泊客に対してアンケート調査を実施し、意見を反映した。
- ・ 9月上旬から中旬頃に制度素案に対する意見提出手続きを実施し、宿泊事業者や観光関連事業者はもとより、広く市民から意見を徴取する予定である。

5 その他

- ・ 事務局から次回審議会日程について説明があった。
- ・ 任期満了に伴い、各委員からあいさつがあった。

6 閉会